

酒井多賀志公演会ニュース@記念事業 No.1、2020-10

記念事業事務局 〒191-0043 東京都日野市平山 6-11-27 〈クラヴィーア音楽研修所〉内

TelFax. 042-637-1345 (留守電の場合はご用件、連絡先を入れて下さい。後ほどご連絡さしあげます)

Mail s.takashi@kinen2020.org HP <http://orgelkunst.org/>

《ごあいさつ》

世界中でコロナ厳戒体制が今しばらく続きそうです。

そんな中でもみなさま健康に留意されつつ、希望の光を求め様々な活動を模索されているのではないのでしょうか。夫・酒井多賀志の急逝から早や 10 ヶ月。寒くなると倒れたその日のことが思い出されてなりません。沢山のご弔意誠に有り難うございました。コロナ禍も知らず逝った彼ですが、幸いにも多数の CD を残してくれました。またライブ音源・動画も徐々に HP にアップされています。そうした演奏の中に彼の気配を身近に感じつつ、彼がしてきたこと、またやりたかったことに思いをはせる日々です。

ちょうど、彼が生前希望していた『流離 (さすらい)』の復刻 CD が完成しました。オルガン曲「流離」は、自分の信じる道を一途に歩もうとする人間の情熱を、芭蕉の「旅に病んで夢は枯れ野をかけめぐる」の辞世の句にイメージした作品、と CD の解説にあります。まさに自分の最期を暗示するかのようです。わび、さびの世界を初めてパイプオルガンで表現、「ヨーロッパを驚かせた和のオルガン」として'92 年オックスフォード大学出版局より楽譜出版され、グローバルに演奏が可能になりました。'81 年、33 歳にして自作自演の道に踏み出した頃の彼の思いを、以下のメッセージに探ってみましょう。

☆祈りの次元で音楽を

音楽を創造することと祈ることは大変似ています。それは両者とも心の深いところの混沌とした情念の世界をみつめ、そこからこみあげてくる、まだ音にも言葉にもなっていない何かと向き合い、それと対話することを前提としているからです。また、祈るという行為が人間の力を越えた、目に見えない神や仏を対象としている一方、音楽するという行為も、目に見えない音という抽象的な素材を対象にしています。この類似した性質が、古くから音楽と宗教を結びつける糸口だったのでしょう。心の深いところは、祈りと音楽の共通の住処です。外観の発達や情報の渦に巻き込まれることなく、それを正しく見据えた上で、祈りの次元で音楽活動が続けていくことが、今の私の存在意義だと思っています。(CD「流離」ジャケットより)

共演の三塚幸彦氏も、酒井の音楽観に深く共鳴し「民族楽器としての尺八のありかた及び自己の音楽的方向性、考え方を決定的なものとした」と述べておられます。この CD にはおもに瞑想的・即興的な自由な様式の曲が収められていますが、しだいにバッハの対位法的な重厚な曲、またうた心あふれる歌曲、マンドリンとのアンサンブル曲などと作風を広げていきます。その足跡はまたの機会にたどることにいたしましょう。

それではみなさま、くれぐれも御身お大切にお過ごし下さい。(会長・酒井正子)。

《記念事業の活動 4月～10月》

○事務局スタッフご紹介

＊当初メンバーに加え、この10月よりあらたにベテランの會津雅子さんを迎えます。

すべて純心短大・大学で酒井の指導を受けられた方々です。

○記念事業発足の準備、ご案内の発送

○研修所の整備、楽器の保全管理

＊感染予防に留意しながら自粛期間もさらなる練習を積むべく、数名の方が熱心にお稽古にかよわれています。

○楽譜等のデータ保全、楽譜・CD整理、通信販売。

○CD特別販売（12月まで継続中）を多数ご利用いただき、収益は記念事業経費にあてています。

＊楽譜をご注文の方には、酒井自筆の指使いをふった楽譜と、本人による曲目解説のコピー等を添えるようにしています。

○録音・動画のデジタル化とHPでの公開、酒井作品に関するトピックスのご紹介等。

○今後とも一層の充実をはかっていきます。どうぞよろしくお願いします。（記念事業関係者一同）

《CD「流離(さすらい)」再刊！》 オルガンと和楽器、30余年を超えて甦る名共演！

～自分の信じる道を一途に歩んだ酒井多賀志、情熱の作品集～



初版ジャケット、女子パウロ会（1990）



再刊ジャケット、NLR（2020）

『箏や尺八が海外から輸入されて日本の楽器になったように、自分はパイプオルガンを日本の楽器にしたい』そんな酒井の情熱と信念を象徴する初アルバムが、三塚氏のレーベル「Nothern Lights Record」より再刊されました。箏の小野美穂子、尺八の三塚幸彦と共演した音盤のリマスタリング盤です。長らく絶版になっていましたが、皆様にお届けできるようになりました。

新たなオルガン音楽の誕生を告げる記念すべきCDを、どうぞこの機会にお求め下さい。

税込み¥2800-のところ、再刊記念価格¥2500-にて（50枚限定販売※）。お申し込みは記念事業事務局まで。

《既刊CD、特別販売中♪》

在庫が豊富なCDを特別価格（¥2000-）にて提供させていただいております。（※）

本年12月13日（一周忌）まで。ぜひぜひお見逃しなく！

詳細は記念事業HPか、送付済みの【価格一覧】をご覧ください。

※送料・振り込み手数料はご負担下さい。

《今後の活動予定》

12月1日（予定）酒井オリジナル作品、酒井本人による曲目解説 一挙公開

公開場所 HP「酒井多賀志公演会 記念事業」

12月24日（予定）Youtube「酒井多賀志公演会 記念事業」チャンネル

♪よみがえる清冽な音空間！「オルガンリサイタル No. 2 ～バッハ以降のオルガン音楽～」

東京カテドラル聖マリア大聖堂 ライブ録音：1974.11.15

《資料公開、ネットワークのご紹介》

○HP「酒井多賀志公演会 記念事業」 URL:<http://orgelkunst.org/>

随時、新規お知らせをご案内しております。

○酒井オリジナル HP「オルガン音楽工房サカイ」 URL: <http://www.sakai-organ.org/>

酒井多賀志本人が編集していた HP

○Youtube「酒井多賀志公演会 記念事業」チャンネル

♪よみがえる清冽な音空間！「オルガンリサイタル No. 1 ～バッハへの流れ～」

東京カテドラル聖マリア大聖堂 ライブ録音：1974.6.22

自主企画のリサイタル・シリーズの、記念すべき第1回目。

Program A. シュリック：うるわしマリア(1450～1520) ～J.S バッハ(1685～1750)等。

♪「神々の調べ～奄美島唄とパイプオルガンの出会い 10周年記念コンサート」ライブ動画：2002年

（前半・後半の2本立て） Program 「流離」「アメイジング・グレイス」、

島唄界を代表するウタシャ坪山豊、森山ユリ子、貴島康男との饗宴！

○Facebook アカウント「酒井多賀志公演会」 みなさんとの交流の場としています。

＊

＊

＊

○Youtube「オルガンとマンドリンオーケストラの為の協奏曲～紅葉によせて～」ライブ動画

秋田アトリオン音楽ホールにて。マンドリン奏者、平丈恵さんのチャンネルにて公開されています。

○Youtube「第25回宝塚マンドリン・ギターオーケストラ定期演奏会 第2部」

宝塚ベガ・ホールにて。酒井最後の本番となった舞台。ライブ動画 2019年。

マンドリン奏者、恩地早苗さんのチャンネルにて公開されています。Program「一陽来復」

○HP「信時潔研究ガイド」（明治生まれ、大正-昭和中期の作曲家・信時潔に関する研究情報）にて

遺作 CD「和から洋を顧みる」をご紹介します。 URL: <http://www.nobutoki.sakuraweb.com/>

○ラジオ 横浜マリン FM

酒井オリジナル作品をオルガンビルダー須藤宏さんのご紹介により取り上げていただきました。

Program「〈我は海の子〉〈八重山民謡船ぬ親ユンタ〉の主題による幻想曲」(CD「アイザック・スターンホルの須藤オルガン」より) *放送のアーカイブを準備ができ次第、公開します。視聴方法はHPにて。

《募集♪～協賛活動～》

記念事業では、酒井作品を取り上げた演奏会・その他企画に対して、協賛活動を行っています。ご関係の方はどうぞご一報くださいませ。

○協賛内容

- ・公演会記念事業の広報(HP・Facebook・公演会ニュース等)で、酒井オリジナル作品を取り上げた演奏会・その他企画のご紹介をさせていただきます。
- ・演奏会の広告・チラシ等に「協賛：酒井多賀志公演会 記念事業」の一文を掲載していただけます。

※資金の援助は行っておりません。

《追悼の辞 ご紹介》 ハイシリヒ・シュッツ合唱団創設、ムシカ・ポエティカ 淡野弓子さんより

2019年12月13日、オルガニストの酒井多賀志さんが心不全で急逝されました。翌日のコンサートの練習中でオルガンシューズを履かれたままだったとのこと。シュッツ合唱団でともに歌ってくださった時期もあります。1977年、東京大学教養学部900番教室に設置されたオルガンは、酒井さんがオルガニストを務めておられた吉祥寺カトリック教会で火災にあった楽器で、東大でのお披露目のコンサートでは酒井さんの演奏で復元された初めての音が響き渡ったのでした。酒井さんとはかなり本気で議論をしたので場面毎の思い出は非常に強烈です。酒井さん、今度は時間の制約なしに議論の続きを致しましょう。

今頃は広々とした天空で自由にはばたいておられることでしょう。(2020年10月)

〈おことわり〉

「公演会ニュース@記念事業」はご縁をいただいた方にお送りしておりますが、今後発送を希望されない場合は、ご提供を中止致しますので、事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

ご提供されました皆様の個人情報は、第三者に預託、提供は致しません。